



バスラ日誌（6月25日）-152号-

1 今日には掲示物について書こうと思う。人が集まるような所の壁などに掲示物をして、何かを伝えようとするのは、ずっと昔から行われている情報伝達の手段であるが、ここバスラでも重要な役割を果たしているように思う。司令部においては、各部付近の壁に師団の行っている作戦の状況を撮影した写真が張ってあったり、正面玄関ホールには、10のキャンペーン用ポスターや様々なメディアから情報が掲示してあったり、司令部内の掲示物だけで、今ここで何が行われているかを知ることができる。しかし、私が特に興味を持ったのは、居住区のトイレ及びシャワー室にある掲示物である。それは「節水」、「手洗い」及び「落書き防止」の3つを呼びかけているが、3つの掲示物に共通するのが「脅し」である。節水を呼びかける掲示物は、コンパクト・シャワー（汗や泡を流す時だけ、約15秒シャワーを浴びるやり方）により、節水を推進しようとしているが、最後に一言、「守らないとペットボトルでシャワーを浴びることになるぞ。」と書いてある（[REDACTED]が、以前のバスラ日誌で記載済み）。手洗いの掲示物は、手洗いの基準を金、銀、銅メダルになぞらえて、アルコール消毒は銅メダル、石けんを使って手を洗うのは銀メダル、石けんを使って洗った後に、アルコール消毒するのが金メダルだと書いてある。そして、手洗いをしないことが「下痢」や「嘔吐」の原因となり、「下痢や嘔吐は戦場では命に関わるぞ」と結んでいる。最後に、落書き防止の掲示物では、「トイレの壁の落書きをすることをやめさせるのは難しいことだ」と一種達観したような雰囲気から始まるが、「しかし、君たちは規律ある軍人である。」と言い放ち、結論は「今後、一切の落書きを許さない。落書きを見つけたら、このトイレは閉鎖し、野外トイレを使用させる。」である。以上、3つの掲示物の「脅し」について書いたが、ここにいる人達はあまり気にしていないように見える。勿論、厳密にコンパクト・シャワーを守っている人はいるし（私もそう）、手洗いは金メダルの人（私は金か銀）もたくさんいる。ただ、全ての人に全てのことを守らせるのは、我々と一緒になかなか難しいことなのだろう。ここでの生活もあと僅かとなったが、「脅し」を受けているからではなく、自主的に居住区の掲示板に書かれていることをやっと思いこうと思う。それが、このルールだから。

2 司令部の裏に蛙が生息する池（水溜まり）があり葎らしき植物も生い茂っていたが、蛙の鳴き声も聞こえなくなり植物も枯れてきた。本日そこに（司令部南側150m）1DF攻撃2発。攻撃20回目。36発目。蛙が心配。本日快晴、バスラ4名、極めて健康。（[REDACTED]、[REDACTED]、[REDACTED]、[REDACTED]）